



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 東レ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3402 URL www.toray.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日覺 昭廣

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 松村 俊紀

TEL 03-3245-5178

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

2018年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,191,212	13.6	77,687	0.5	77,395	0.8	48,504	2.1
2018年3月期第2四半期	1,048,218	9.5	78,060	2.3	76,759	0.9	47,524	11.0

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 83,164百万円 (15.0%) 2018年3月期第2四半期 72,323百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	30.32	30.29
2018年3月期第2四半期	29.71	29.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,834,736	1,238,793	40.8
2018年3月期	2,575,910	1,169,188	42.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 1,156,746百万円 2018年3月期 1,090,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		7.00		8.00	15.00
2019年3月期		8.00			
2019年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,450,000	11.1	160,000	2.3	155,000	1.8	98,000	2.2	61.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	1,631,481,403 株	2018年3月期	1,631,481,403 株
------------	-----------------	----------	-----------------

期末自己株式数

2019年3月期2Q	31,612,176 株	2018年3月期	32,034,434 株
------------	--------------	----------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	1,599,727,926 株	2018年3月期2Q	1,599,348,055 株
------------	-----------------	------------	-----------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、[添付資料]4ページ「1. 経営成績等の概況(2)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績・財政状態の概況	P. 2
(2) 今後の見通し	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 10
(追加情報)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
3. 補足情報（連単比較）	P. 11
(1) 当第2四半期の業績	P. 11
(2) 設備投資額・減価償却費	P. 11
(3) 研究開発費総額	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績・財政状態の概況

(当四半期の経営成績)

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	1兆1,912億円	13.6%
営業利益	777億円	△ 0.5%
経常利益	774億円	0.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	485億円	2.1%

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日～9月30日）の世界経済は、米国が好調に推移し、欧州は緩やかな回復が続きました。新興国では、多くの国で景気は持ち直しの動きが見られました。国内経済については、企業部門、家計部門とも底堅く推移し、緩やかな景気回復が続きました。

一方で、原燃料価格の上昇は当社グループ収益の下押し要因となりました。このような事業環境の中で、当社グループは2017年度から、2019年度までの3カ年を期間とする中期経営課題“プロジェクトAP-G 2019”に取り組んでおり、「成長分野での事業拡大」、「成長国・地域での事業拡大」、「競争力強化」を要とした成長戦略を実行しております。

以上の結果、当社グループの連結業績は、売上高は前年同期比13.6%増の1兆1,912億円、営業利益は同0.5%減の777億円、経常利益は同0.8%増の774億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2.1%増の485億円となりました。

事業分野ごとの状況は以下のとおりです。

【繊維事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	5,031億円	19.0%
営業利益	418億円	17.5%

国内では、自動車関連など産業用途は総じて需要が堅調なもの、衣料用途は天候不順の影響もあり荷動きは低調に推移する中、各用途での拡販に加え、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの拡大を進めるとともに、事業体質強化に注力しました。

海外では、東南アジアなどの一部子会社の業績が低調でしたが、自動車関連用途向けは総じて堅調に推移し、衣料用途でも一貫型ビジネスの拡大を進めました。

また、国内外ともに原料価格上昇の影響を受けました。

以上の結果、繊維事業全体では、売上高は前年同期比19.0%増の5,031億円、営業利益は同17.5%増の418億円となりました。

【機能化成品事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売 上 高	4,350億円	11.3%
営 業 利 益	358億円	0.3%

樹脂事業は、自動車用途向けに拡販するとともに、原料価格上昇に対する価格転嫁を推進しました。ケミカル事業は、基礎原料市況が改善するとともに、ファインケミカル製品も増収となりました。フィルム事業は、リチウムイオン二次電池向けバッテリーセパレータフィルムが需要の伸長を背景に出荷を拡大しましたが、原料価格上昇の影響がポリエステルフィルムなど広範にわたりました。電子情報材料事業は、有機EL関連材料の需要鈍化の影響を受けましたが、韓国子会社の回路材料は堅調に推移しました。

以上の結果、機能化成品事業全体では、売上高は前年同期比 11.3%増の 4,350 億円、営業利益は同 0.3%増の 358 億円となりました。

【炭素繊維複合材料事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売 上 高	965億円	13.7%
営 業 利 益	60億円	△ 43.0%

航空宇宙用途では、航空機向けサプライチェーンでの在庫調整が完了したことを受け、需要は概ね堅調に推移しました。一般産業用途では、圧縮天然ガスタンクや風力発電翼などの環境・エネルギー関連向けを中心に、全体として需要が回復傾向となりました。

一方、原料価格の上昇や競合激化の影響を受けたほか、海外のコンポジット子会社で新規案件立ち上げに伴う費用が増加し、TenCate Advanced Composites Holding B.V. の全株式取得に関連する費用も発生しました。

以上の結果、炭素繊維複合材料事業全体では、売上高は前年同期比 13.7%増の 965 億円、営業利益は同 43.0%減の 60 億円となりました。

【環境・エンジニアリング事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売 上 高	1,214億円	5.4%
営 業 利 益	57億円	△ 16.4%

水処理事業は、国内外で逆浸透膜などの需要が概ね堅調に推移しました。

国内子会社では、商事子会社の取扱高が増加しましたが、エンジニアリング子会社のプラント工事や一部のエレクトロニクス関連装置の出荷が減少しました。

以上の結果、環境・エンジニアリング事業全体では、売上高は前年同期比 5.4%増の 1,214 億円、営業利益は同 16.4%減の 57 億円となりました。

【ライフサイエンス事業】

	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	263億円	0.2%
営業利益	7億円	△ 51.1%

医薬事業は、経口プロスタサイクリン誘導体制剤ドルナー[®]が海外向けに数量を拡大したものの、国内では後発医薬品や薬価改定の影響を受けました。経口そう痒症改善薬レミッチ^{®*}は、後発医薬品発売の影響を受けました。

医療機器事業は、ダイアライザーが国内保険償還価格の引き下げと原料価格上昇の影響を受けましたが、国内外で堅調に数量を伸ばしたほか、透析装置も数量を拡大しました。

以上の結果、ライフサイエンス事業全体では、売上高は前年同期比0.2%増の263億円、営業利益は同51.1%減の7億円となりました。

*レミッチ[®]は、鳥居薬品株式会社の登録商標です。

(財政状態の概況)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、資産の部は、受取手形及び売掛金や有形固定資産、無形固定資産が増加したことを主因に前連結会計年度末比2,588億円増加の2兆8,347億円となりました。

負債の部は、有利子負債が増加したことを主因に前連結会計年度末比1,892億円増加の1兆5,959億円となりました。

純資産の部は、純利益の計上により利益剰余金が増加したことを主因に前連結会計年度末比696億円増加の1兆2,388億円となり、このうち自己資本は1兆1,567億円となりました。

(2) 今後の見通し

今後の世界経済は、欧州は弱含みながらも米国が拡大基調を維持するほか、新興国でも中国では持ち直しに足踏みが見られるもののASEANやインドなどが堅調に推移することで、全体として緩やかな景気拡大が続くと想定しています。

ただし、米中などの貿易摩擦の激化、英国のEU離脱交渉の行方、米国発で各国に広がる保護主義的な通商政策の影響、米欧の金融正常化に向けた動きがもたらす金融市場混乱等のリスク要因に注意を払う必要があります。日本経済についても、個人消費や設備投資の増加基調が維持され、緩やかな景気回復が続くことを想定していますが、海外経済の不確実性や、原油価格および金融・資本市場の変動が景気に影響を及ぼす懸念があります。

このような状況の下、当社グループは、中期経営課題“プロジェクトAP-G 2019”の成長戦略を引き続き実行してまいります。

当連結会計年度の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の業績動向、および事業環境の変化等を踏まえて、営業利益を1,600億円に、経常利益を1,550億円に修正いたします。売上高および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2018年8月6日に公表した予想数値から変更ありません。なお、10月以降の為替レートは110円/ドルを想定しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	141,101	158,736
受取手形及び売掛金	489,549	543,971
商品及び製品	248,513	245,536
仕掛品	92,501	100,495
原材料及び貯蔵品	98,659	113,796
その他	58,739	64,862
貸倒引当金	△2,037	△2,604
流動資産合計	1,127,025	1,224,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	277,151	285,791
機械装置及び運搬具（純額）	422,193	449,467
土地	78,370	79,453
建設仮勘定	120,514	128,850
その他（純額）	28,801	29,953
有形固定資産合計	927,029	973,514
無形固定資産		
のれん	40,146	154,764
その他	28,501	28,722
無形固定資産合計	68,647	183,486
投資その他の資産		
投資有価証券	353,091	350,287
その他	103,079	105,635
貸倒引当金	△2,961	△2,978
投資その他の資産合計	453,209	452,944
固定資産合計	1,448,885	1,609,944
資産合計	2,575,910	2,834,736

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	245,550	253,452
短期借入金	135,936	148,556
1年内返済予定の長期借入金	62,974	51,204
コマーシャル・ペーパー	46,000	73,000
1年内償還予定の社債	229	50,000
未払法人税等	13,966	13,943
引当金	21,965	23,039
その他	149,876	143,051
流動負債合計	676,496	756,245
固定負債		
社債	241,264	290,000
長期借入金	326,393	379,492
引当金	1,220	1,148
退職給付に係る負債	101,786	103,012
その他	59,563	66,046
固定負債合計	730,226	839,698
負債合計	1,406,722	1,595,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	147,873	147,873
資本剰余金	117,572	117,590
利益剰余金	763,504	799,198
自己株式	△20,631	△20,360
株主資本合計	1,008,318	1,044,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,290	78,592
繰延ヘッジ損益	△901	△16
為替換算調整勘定	4,830	29,478
退職給付に係る調整累計額	4,158	4,391
その他の包括利益累計額合計	82,377	112,445
新株予約権	1,334	1,200
非支配株主持分	77,159	80,847
純資産合計	1,169,188	1,238,793
負債純資産合計	2,575,910	2,834,736

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

①四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	1,048,218	1,191,212
売上原価	825,073	957,846
売上総利益	223,145	233,366
販売費及び一般管理費	145,085	155,679
営業利益	78,060	77,687
営業外収益		
受取利息	638	1,080
受取配当金	2,035	2,688
持分法による投資利益	5,402	5,942
雑収入	2,872	2,900
営業外収益合計	10,947	12,610
営業外費用		
支払利息	2,553	3,242
新規設備操業開始費用	3,023	2,963
休止設備関連費用	2,759	3,382
雑損失	3,913	3,315
営業外費用合計	12,248	12,902
経常利益	76,759	77,395
特別利益		
有形固定資産売却益	247	111
投資有価証券売却益	457	575
特別利益合計	704	686
特別損失		
有形固定資産処分損	2,045	2,487
環境対策費	1,725	-
和解金	-	989
その他	892	646
特別損失合計	4,662	4,122
税金等調整前四半期純利益	72,801	73,959
法人税等	21,758	21,084
四半期純利益	51,043	52,875
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,519	4,371
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,524	48,504

②四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	51,043	52,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,900	3,793
繰延ヘッジ損益	5	974
為替換算調整勘定	13,235	22,640
退職給付に係る調整額	△1,334	150
持分法適用会社に対する持分相当額	474	2,732
その他の包括利益合計	21,280	30,289
四半期包括利益	72,323	83,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,856	78,572
非支配株主に係る四半期包括利益	5,467	4,592

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	72,801	73,959
減価償却費	45,680	48,940
のれん償却額	4,371	4,971
受取利息及び受取配当金	△2,673	△3,768
支払利息	2,553	3,242
持分法による投資損益(△は益)	△5,402	△5,942
有形固定資産処分損益(△は益)	1,798	2,376
売上債権の増減額(△は増加)	△16,110	△39,946
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34,306	△5,776
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,784	△314
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,001	△2,800
その他の流動負債の増減額(△は減少)	4,862	△1,205
その他	△718	△401
小計	63,071	73,336
利息及び配当金の受取額	6,687	6,488
利息の支払額	△2,619	△3,150
法人税等の支払額	△18,042	△19,579
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,097	57,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△73,749	△78,153
有形固定資産の売却による収入	1,189	2,468
無形固定資産の取得による支出	△867	△1,586
投資有価証券の取得による支出	△64,636	△1,790
投資有価証券の売却による収入	4,355	6,723
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,654	△114,532
その他	7,891	1,418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,471	△185,452
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,510	△3,307
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	20,000	27,000
長期借入れによる収入	44,719	71,228
長期借入金の返済による支出	△86,373	△35,180
社債の発行による収入	100,000	100,000
配当金の支払額	△11,194	△12,796
非支配株主への配当金の支払額	△1,138	△2,996
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,758	△25
その他	△695	△1,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	66,071	142,868
現金及び現金同等物に係る換算差額	630	2,392
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,673	16,903
現金及び現金同等物の期首残高	131,405	134,315
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	566	4,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	119,298	155,425

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	織	織	機能化成品	炭素繊維 複合材料	環境・エンジ ンコアリック	ライフサイエンス	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高										
外部顧客への売上高	422,785	390,688	84,820	115,221	26,214	8,490	1,048,218	-	1,048,218	
セグメント間の 内部売上高又は振替高	599	8,751	263	33,522	-	11,856	54,991	△54,991	-	
計	423,384	399,439	85,083	148,743	26,214	20,346	1,103,209	△54,991	1,048,218	
セグメント利益	35,548	35,686	10,458	6,829	1,385	860	90,766	△12,706	78,060	

(注)1. その他は分析・調査・研究等のサービス関連事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△12,706百万円には、セグメント間取引消去△330百万円及び各報告セグメントに配分していない
全社費用△12,376百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	織	織	機能化成品	炭素繊維 複合材料	環境・エンジ ンコアリック	ライフサイエンス	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高										
外部顧客への売上高	503,072	434,971	96,454	121,414	26,277	9,024	1,191,212	-	1,191,212	
セグメント間の 内部売上高又は振替高	682	9,424	287	32,680	-	12,956	56,029	△56,029	-	
計	503,754	444,395	96,741	154,094	26,277	21,980	1,247,241	△56,029	1,191,212	
セグメント利益	41,786	35,799	5,961	5,711	677	823	90,757	△13,070	77,687	

(注)1. その他は分析・調査・研究等のサービス関連事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△13,070百万円には、セグメント間取引消去9百万円及び各報告セグメントに配分していない全
社費用△13,079百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報 (連単比較)

(1) 当第2四半期の業績 (2018年4月1日~2018年9月30日) (金額単位: 百万円)

	連 結 (対前年同四半期増減率)	単 体 (対前年同四半期増減率)
売 上 高	1, 191, 212 (13.6%)	310, 253 (8.7%)
営 業 利 益	77, 687 (△0.5%)	11, 376 (△22.0%)
経 常 利 益	77, 395 (0.8%)	40, 369 (△29.8%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (※)	48, 504 (2.1%)	31, 474 (△41.1%)
総 資 産	2, 834, 736	1, 562, 480
純 資 産	1, 238, 793	649, 388

(※) 単体においては「四半期純利益」

(2) 設備投資額・減価償却費 (※) (金額単位: 億円)

	設 備 投 資 額		減 価 償 却 費	
	連 結	単 体	連 結	単 体
2017年第2四半期 (累計)	699	141	467	155
2018年3月期	1, 579	449	980	337
2018年第2四半期 (累計)	663	99	501	166

(※) 有形固定資産・無形固定資産 (のれんを除く) に係るものを表示

(3) 研究開発費総額 (金額単位: 億円)

	連 結	単 体
2017年第2四半期 (累計)	312	235
2018年3月期	662	480
2018年第2四半期 (累計)	332	243